

取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
環境についての学習	自然について学習し、生徒たちの自然を大切にすることを育てます。	1	総合的な学習や校外学習で、自然について学習する機会を設ける。	1年職員 2年職員	生徒 教職員	○総合的な学習では、自然に親しむ活動やSDGsについての調べ学習などを通して、自然を大切にする意識の向上を図ってきた。I組は独自に年間を通して里山教室を開催し、自然の恵みについて学習の機会を持っていた。 ○図書委員会の図書の紹介については、前年度からの引き継ぎが不十分だったためか、実施できなかった。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 教科などの学習では意識付けができたと思う。 【今後の課題】 生徒の委員会などでの活動も展開していきたい。 【次年度への引継ぎ事項】 図書委員会への活動の依頼。美化委員会や保健委員会への活動依頼。
		2	図書委員会で環境に関する図書の紹介を行う。	図書委員会顧問	図書委員		
電気、水、物を大切に使う活動	日常の学校生活の中で省エネルギー活動を実践します。	1	使っていない教室やトイレなどの電気をこまめに消す。	全職員	教職員 生徒	○電気や水道の無駄遣いを減らす取り組みとしては、スイッチの横などに生徒が作ったSDGs啓蒙ポスターを貼っていた。 ○ストーブやエアコンの使用については明確な温度設定はしなかったが、職員が意識を持って節電、節水に努めていた。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 概ね意識を高めていくことができた。 【今後の課題】 ポスターの制作をしていない学年もあるので、取り組みを依頼する。 【次年度への引継ぎ事項】 SDGsに関わるポスター作りの定例化
		2	水道の蛇口をしっかり閉める。	全職員	教職員 生徒		
		3	ストーブの使用温度を下げる。	全職員	教職員		
		4	エアコンの夏季の使用室温を上げるとともに、冬季の使用温度を下げる。	全職員	教職員		
捨てるごみを減らす活動	ゴミの分別・リサイクル活動を推進し、ごみの量を減らします。	1	印刷やコピーの無駄をなくす。 (両面印刷および裏面印刷の励行)	全職員	教職員	○職員会議のペーパーレス化を行うなどして、使用する紙の削減を図ってきた。 ○職員室などのゴミ箱はわかりやすく分別できるように蓋に表示をしている。 ○生徒会本部が主催してエコキャップ活動やアルボラ活動に取り組み、意識を高めていた。	【取組の評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた <input type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 生徒も含めて意識して行動している。 【今後の課題】 活動の引き継ぎ 【次年度への引継ぎ事項】 生徒会の活動内容
		2	捨てるゴミとリサイクル資源をきちんと分別する。	全職員	教職員 生徒		
		3	エコキャップ活動およびアルボラ活動の実施。	生徒会顧問	生徒会 生徒		
		4	側溝の土砂の利用。	全職員	教職員 生徒		

(様式1) 学校エコ活動シート

●写真等の記録:活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。



校内の掲示、生徒会制作の回収箱

●学校長(推進責任者)によるコメント

【学校長名】

稲川 敏光

【今後の方向性について】

○本校の周りの自然を活かした体験学習を地域の方の協力をいただきながら実施していく。

○SDGs啓蒙ポスターを生徒手づくりのもとに掲示していく。

○里山公園に協力をいただき、支援級を対象にした「里山教室」を実施し、自然や農作物の恵みについて体験学習を行う。

○「見つけ掃除」を励行し、清掃活動の充実を図る。